

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)8月6日
所 属 名:高島農産普及課
番 号: H25014
発 信 者 名:中川

令和7年産まくわうり目合わせ研修会を開催

7月18日(金)にJAレーク滋賀管内のまくわうり生産者に対して、まくわうりの出荷規格や出荷方法、収穫終了までの病虫害防除や栽培管理を理解してもらい高品質なまくわうりを出荷できるよう目合わせ研修会を開催しました。

高島地域ではまくわうりが特産品として定着しており、直売所での販売に加えて、JA レーク滋賀の共同選果場から市場出荷され、高品質な今津特産のまくわうりとして取り扱われています。生産者の高齢化に伴う栽培面積の減少など生産規模が縮小傾向にありましたが、普及活動を通して栽培推進を図った結果、年々栽培者が増加し、令和7年度からは大津・南部地域でも新たに栽培に取り組まれるようになりました。今回は既存生産者および新規生産者が高品質なまくわうりを収穫・出荷できるよう研修会を開催しました。

当日はマキノ、今津、新旭、栗東等の各地域から生産者10名、関係者6名の計16名が出席されました。

最初に選果場にてJA担当者より選果場利用のルールや出荷規格について説明があり、実際に選果場を見学しました。その後、当課より今年度の栽培概況と今後の栽培管理について説明を行った後、現地ほ場で現在のまくわうりの着果状況や樹の状態について他生産者と意見交換する場を設けました。研修会は新規生産者が増えたことでほ場での意見交換が以前より活発になりました。

当課では今後も関係機関と連携して、各地域の生産状況についての情報共有やほ場巡回、研修会を定期的実施することで、高品質なまくわうりが生産され続けるよう支援します。



JA職員による出荷規格説明



現地ほ場での意見交換